

令和２年度 第１回南信州民俗芸能継承推進委員会

次 第

日時：令和２年５月２７日（水） １０時３０分

場所：南信州広域連合事務センター２０１・２０２ 会議室

１ 開会

２ 委員長あいさつ

３ 協議事項

(１) 第１号議案 役員等の選任

(２) 第２号議案 令和元年度事業報告

(３) 第３号議案 令和元年度決算報告

(４) 第４号議案 令和２年度事業計画（案）

(５) 第５号議案 令和２年度予算（案）

４ 意見交換

今後の事業推進について

５ その他

６ 閉会

役員等の選任

南信州民俗芸能継承推進協議会会員(案)

区分	役員	所属・役職	氏 名
民俗芸能 団体	顧問	伊那谷民俗芸能団体連絡協議会 顧問 (大鹿歌舞伎保存会 顧問)	片桐 登
	◎	伊那谷民俗芸能団体連絡協議会 会長 (黒田人形保存会 相談役)	高田 正男
		南信州民俗芸能継承推進委員会 委員長 (和合の念仏踊り 会長)	平松 三武
住民団体		柳田國男記念伊那民俗学研究所 事務局長	松上 清志
		南信州文化財の会 代表	吉澤 健
		南信州交流の輪 代表	関 京子
行政機関	○	広域連合総務・文教・消防部会長(売木村長)	清水 秀樹
		広域連合副連合長 広域連合総務・文教・消防部会員(平谷村長)	小池 正充
		広域連合総務・文教・消防部会員(豊丘村長)	下平 喜隆
		広域連合総務・文教・消防部会員(高森町長)	壬生 照玄
	△	飯伊市町村教育委員会連絡協議会 会長	代田 昭久
		飯田市美術博物館 館長	滝沢 具幸
		長野県教育委員会 文化財・生涯学習課長	小林 司
		長野県南信州地域振興局長	丹羽 克寿
		南信州広域連合 事務局長	高田 修

◎＝会長、○＝副会長、△＝監事

アドバイザー グループ (学識経験者)	國學院大學教授、折口博士記念古代研究所、 柳田國男記念伊那民俗学研究所所長、飯田市美術博物館顧問	小川 直之
	長野県立歴史館館長 元長野県文化財保護審議会 会長	笹本 正治
	東京福祉大学・大学院 留学生教育センター 特任准教授 元文化庁伝統文化課主任文化財調査官	宮田 繁幸
	飯田市美術博物館 専門研究員 國學院大學兼任講師	櫻井 弘人

令和元年度事業報告

1 効果的・積極的な情報発信、啓発活動の展開【方向性1】

(1) インターネットによる情報発信

ホームページの情報発信機能を充実させ各芸能団体の活動内容を常時発信する体制を作る。

(2) 10月～11月を「民俗芸能フェア」として集中的にイベントや民俗芸能関連行事の広報活動を実施。

(3) 民俗芸能カレンダー制作・配布

制作部数：15,000部

配布先：管内小中学校の児童生徒、南信州民俗芸能パートナー企業、民俗芸能団体等

2 継承意識の醸成の場・発表機会等の提供【方向性2】

(1) 交流・事業報告会の開催

民俗芸能継承フォーラム

期日：令和元年10月5日（土）聴講人数 80人

場所：飯田市鼎文化センターホール

ア 基調講演 國學院大學文学部 小川直之教授

講演題目「南信州が伝える民俗芸能の魅力は何か」

イ パネルディスカッション

「民俗芸能に対する思いと将来の継承について」

ファシリテーター 長野県立歴史館 笹本正治館長

パネリスト 坂部の冬まつり（天龍村） 村澤雄大氏

上村遠山霜月祭保存会（飯田市） 山口雄大氏

阿智村下清内路煙火有志会（阿智村） 櫻井佑介氏

西浦田楽保存会（浜松市） 佐々木寿氏

ウ 実演 「高砂」西浦田楽保存会

「傾城阿波の鳴門巡礼歌の段」飯田女子高校人形劇クラブ

(2) 民俗芸能に係る講座の開催

伊那民俗研究集会 ※柳田國男記念伊那民俗学研究所と共催

期日：令和元年10月13日（日）～14日（月祝）受講者 71人（延べ人数）

場所：飯田市美術博物館講堂

基調講演 國學院大學文学部 小川直之教授

講演題目「地域像アーカイブの可能性」

ア 令和元年10月13日（日）伊那谷の貴重な民俗写真とその現状

事例報告1 「市村威人撮影ガラス乾板」 下伊那誌編纂会 伊坪達郎氏

事例報告2 「熊谷元一撮影写真」 阿智村協働活動推進課 大石真紀子氏

事例報告3 「向山雅重撮影写真」 宮田村教育委員会 小池勝典氏

事例報告 4 「天龍・泰阜の戦前戦後写真」 吉澤良公氏

イ 令和元年 10 月 14 日（月祝）写真から民俗を読み取る

研究発表 1「暮らしの民俗を読む」 柳田國男記念伊那民俗学研究所 今井啓学芸員

研究発表 2「養蚕の民俗を読む」 ヶ 松上清志事務局長

研究発表 3「衣服の民俗を読む」 ヶ 片桐みどり学芸員

遠山の民俗と写真及び映像

映像上演「山のまつり」

基調講演「遠山をめぐる映像と写真」 飯田市美術博物館 櫻井弘人専門研究員

事例報告「塚原琢哉写真と下栗の現状」 下栗案内人の会 野牧和将氏

（3）南信州民俗芸能出張講座 i n 安曇野の開催

期日：令和元年 10 月 20 日（日）受講者 25 人

場所：安曇野市堀金公民館講堂

講演：「南信州の民俗芸能」 講師：飯田市美術博物館 櫻井弘人専門研究員

3 子どもの芸能体験・参加機会の創出【方向性 3】

高校生の伝統芸能体験の推進（通年）

内容：高等学校の民俗芸能クラブの活動支援（再掲：継承フォーラムにおける発表）

4 次世代のリーダー育成に関する事業【方向性 5】

次世代の担い手との情報・意見交換会の開催（再掲：継承フォーラムにおける発表）

5 地区外人材の活用・受入の促進【方向性 6】

県外民俗芸能体感・講習会の開催

期日：令和元年 11 月 9 日（土）聴講人数 180 人

場所：國學院大學 常磐松ホール（東京）

ア 講演題目「日本の神楽と向方のお潔め祭り」國學院大學文学部 小川直之教授

「遠山霜月祭和田の特質」飯田市美術博物館 櫻井弘人専門研究員

イ 実演「向方のお潔め祭り」

6 企業等による協力体制の構築【方向性 7】

「南信州民俗芸能パートナー企業制度」の運用

内容：登録企業数の増加を図るとともに、民俗芸能団体の課題と企業が支援できる内容をマッチングし、企業の特性を活かした新たな支援内容の充実検討を行った。

また、ホームページ等による取組内容周知を行った。

マッチング事業実績

令和 2 年 1 月 4 日（土）坂部の冬祭り — (株)旭松食品

令和 2 年 1 月 14 日（火）新野の雪祭り — 旭松食品(株)、喜久水酒造(株)、(株)キラヤ、丸昌稲垣(株)、マルマン(株)

7 記録の保存【方向性8】

南信州阿智村清内路煙火等資産化事業との連携

内容：上・下清内路の煙火、南信州の煙火の映像記録及び報告書作成支援。

報告書1冊、記録映像3本（上清内路の手づくり煙火、下清内路の手づくり煙火、南信州の煙火）

8 その他

子どもにとって民俗芸能に親しみが持てる教材等の制作

内容：小学校や中学校の授業で児童、生徒が民俗芸能や祭りの歴史や意味を学ぶことができるようなパンフレットを作成（Web データ）。

南信州民俗芸能継承推進協議会 令和元年度収入支出決算書

会計年度 平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

収入総額 3,915,725 円
支出総額 3,912,744 円
差引残額 2,981 円（次年度繰越）

収入の部

(単位:円)

区 分	当初予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	決算額	比 較	摘 要
1. 繰越金	7,114		—	7,114	7,114	0	前年度繰越金
2. 補助金	1,500,000	300,000	—	1,800,000	1,734,000	△ 66,000	県補助(元気づくり支援金)
3. 負担金	500,000		—	500,000	520,000	20,000	南信州広域連合負担金等
4. 寄付金	4,886	240,000	—	244,886	153,112	△ 91,774	パートナー企業からの寄付金
5. 借入金	1,500,000		—	1,500,000	1,500,000	0	南信州広域連合からの借入金
6. 雑入	0		—	0	1,499	1,499	貸付金回収金
合 計	3,512,000	540,000	—	4,052,000	3,915,725	△ 136,275	

支出の部

区 分	予算額	補正予算額	流充用額	予算現額	決算額	残 額	摘 要
1. 協議会助言者経費	250,000		△ 30,000	220,000	219,202	798	アドバイザー謝礼・旅費
2. 情報発信・啓発活動経費	301,000	500,000	△ 70,000	731,000	646,608	84,392	ウェブサイト更新、カレンダー制作等
3. 意識醸成経費	795,000		△ 60,000	735,000	722,706	12,294	継承フォーラム開催等
4. 担い手確保・人的支援経費	592,000		110,000	702,000	698,019	3,981	県外におけるフォーラム開催等
5. 借入金返済	1,500,000			1,500,000	1,500,000	0	南信州広域連合からの借入金の返済
6. その他経費	74,000	40,000	50,000	164,000	126,209	37,791	消耗品費、通信運搬費等
合 計	3,512,000	540,000	—	4,052,000	3,912,744	139,256	

会計監査報告書

令和元年度南信州民俗芸能継承推進協議会収入支出予算の執行状況について、関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査したところ、適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

令和 2 年 5 月 21 日 監 事

之 係 敷 武 康



令和2年度事業計画（案）

南信州の貴重な資産を未来に継承するため、平成28年2月に制定した「南信州における民俗芸能継承のための取組方針」に基づき、次の事業を実施する。

1 効果的・積極的な情報発信、啓発活動の展開【方向性1】

- ① ② (1) ウェブサイトの活用による情報発信
ホームページの情報発信機能を充実させるため、各芸能団体の活動内容を常時発信する。協議会のウェブサイトの内容更新・充実
- ② (2) 11月を「南信州民俗芸能月間」として、集中的なイベントや祭事の広報活動を実施。
- ① ② (3) 県内における民俗芸能講座の開催
南信州の民俗芸能を情報発信するため、県内において民俗芸能講座を開催する。
内容：民俗芸能出張講座の開催
期日：令和2年11月21日（土）
場所：長野県立歴史館
- ② (4) 民俗芸能カレンダー制作・配布
管内小中学校の児童生徒、南信州民俗芸能パートナー企業等へ配布

2 継承意識の醸成の場・発表機会等の提供【方向性2】

- ② (1) 交流・事業報告会の開催
文化財保護法及びユネスコ文化遺産登録に係る講演を行うとともに、当地域の若者を中心に民俗芸能の発表機会や意見交換の場を創出する。
内容：第6回南信州民俗芸能継承フォーラム
期日：令和3年2月開催予定
場所：未定
- ② (2) 民俗芸能に係る講座の開催 ※柳田國男記念伊那民俗学研究所と共催
内容：「(仮) 第4回伊那民俗研究集会＜折口信夫来訪100年記念＞」
期日：令和2年11月28日（土）～29日（日）
場所：（1日目）阿南町立新野小学校体育館
（2日目）阿南町農村文化センター

3 次世代のリーダー育成に関する事業【方向性5】

- ① (1) 次世代の民俗芸能の担い手同士の相互の交流、意見交換会の開催
- ② (2) 民俗芸能に係る講座の開催 ※柳田國男記念伊那民俗学研究所と共催（再掲）

4 地区外人材の活用・受入の促進【方向性 6】

〔継〕(1) 県外民俗芸能体感・講習会の開催 ※國學院大學との共催

首都圏在住の南信州出身者や学生、研究者、住民を対象に、上村遠山霜月祭り（中郷）をテーマとした映像上映、実演・解説、講演会を開催する

期日：（仮）令和 2 年 12 月 19 日（土）

場所：國學院大學 常磐松ホール（東京）

〔新〕(2) 南信州民俗芸能応援隊の設立に向けた検討（通年）

南信州民俗芸能応援隊への登録事務、祭事情報の提供、周辺（裏方）支援を行う
外部支援者の受入策の調整、学習会の開催など

5 企業等による協力体制の構築【方向性 7】

〔継〕「南信州民俗芸能パートナー企業制度」の運用

登録企業数の増加を図るとともに、民俗芸能団体の課題と企業が支援できる内容をマッチングし、企業の特性を活かした新たな支援内容の検討及び試行を行う。

また、ホームページ等による取組内容周知やマッチング活動への参加要請を行う。

6 その他

〔継〕(1) 民俗芸能の観覧環境の整備

参加者が「ほんもの」の民俗芸能を観覧するための環境整備の検討

（照明等ハード面整備、フラッシュ撮影禁止の取組拡大、観覧マナーの確立等）

〔継〕(2) 協議会継続のための財源確保に向けた検討及び事務局体制の検討

〔継〕(3) ロゴマークの商標登録の研究及びロゴマーク活用による取組周知の展開

南信州民俗芸能継承推進協議会 令和2年度収入支出予算書(案)

会計年度 令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

収入総額	4,310,000 円
支出総額	4,310,000 円
差引残額	0 円

収 入 の 部

(単位:円)

区 分	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1. 繰越金	2,981	7,114	△ 4,133	前年度繰越金
2. 補助金	1,500,000	1,500,000	0	県補助(元気づくり支援金)
3. 負担金	1,000,000	500,000	500,000	南信州広域連合負担金
4. 寄付金	307,019	4,886	302,133	カレンダー事業寄付金ほかパートナー企業からの寄付金
5. 借入金	1,500,000	1,500,000	0	南信州広域連合からの借入金
合 計	4,310,000	3,512,000	798,000	

支 出 の 部

(単位:円)

区 分	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1. 協議会助言者経費	544,000	250,000	294,000	アドバイザー謝礼・旅費、専門研究員費
2. 情報発信・啓発活動経費	453,600	301,000	152,600	ウェブサイト内容更新・充実、広報等
3. 意識醸成経費	674,000	795,000	△ 121,000	交流・事業報告会開催等
4. 担い手確保・人的支援経費	552,000	592,000	△ 40,000	子供体験会開催、県外体感・講習会開催
5. 環境整備・事務局支援	500,000	0	500,000	照明環境整備、事務局補助ほか
6. 借入金返済	1,500,000	1,500,000	0	南信州広域連合からの借入金の返済
7. その他経費	86,400	74,000	12,400	消耗品、振込手数料
合 計	4,310,000	3,512,000	798,000	

予算の各科目に過不足が生じた場合流用が出来るものとする。

意見交換

テーマ：今後の事業推進について

1 経過

平成 27 年 7 月 1 日協議会設立。

平成 27 年度から 29 年度にかけて長野県教育委員会の「伝統行事（芸能）継承モデル事業」の実施主体となり、この事業の中で制定した「南信州における民俗芸能継承のための取組方針」に基づき、民俗芸能継承のための取組みを推進。平成 30 年度以降は、それまでの取組みの成果を踏まえ、長野県 地域発元気づくり支援金を得て、この取組方針に沿った事業を展開してきている。長野県 地域発元気づくり支援金の支援は令和 2 年度で終了する。

2 検討のポイント

(1) 「推進すべき 9 つの方向性」 実行度の検証

取組方針に示されている 9 つの方向性それぞれについて、これまでにどの程度実行できたのか検証が必要。

(2) 市町村、民俗芸能団体の主体的な参加

民俗芸能の継承推進には、長く継続した取り組みが必要となるが、各保存会やそれを密に支援する市町村が主体的に取り組むことが何より大切である。

（そのためにはワーキングチームなどにより地域の課題を共有する作業が必要）

(3) 本事業の重要性の認知

協議会が目指す「後継者の育成と未来への継承」の重要性を多くの人が知る必要がある。

(4) 活動資金の確保

平成 30 年度から当協議会事業の主たる財源となっている「長野県 地域発 元気づくり支援金」の支援が令和 2 年度で終了。

(5) 事務局機能の強化

事務局に高い専門性が求められており、専門性の高い既存組織や新組織への事務局機能移管を見据える。

（参考）

「推進すべき 9 つの方向性」に基づきこれまでに実施した事業

方向性 1 効果的・積極的な情報発信、啓発活動の展開

- ・ ホームページ「南信州民俗芸能ナビ」の作成、運用（H28～）
- ・ ツイッター、フェイスブックの運用（H29～）
- ・ 「南信州の民俗芸能」紹介パンフレットの作成（H29）
- ・ シンボルマークの作成（H30）
- ・ 地元紙を活用した行事告知
- ・ 國學院大學、飯田市美術博物館、柳田國男記念伊那民俗学研究所等との連携

方向性 2 継承意識の醸成の場・発表機会等の提供

- ・民俗芸能継承フォーラムの開催（H27～）
- ・伊那民俗研究集会の開催（H29～）
- ・関東ブロック民俗芸能大会への参加（坂部の冬まつり保存会）（H28）
- ・民俗芸能に係る講座の開催

方向性 3 子ども体験促進・体験機会の提供

- ・子ども体験会の開催（大名行列、東野大獅子、文楽、大鹿歌舞伎、大島山獅子舞）（H27～30）
- ・飯田女子高等学校人形劇クラブ、阿南高等学校郷土芸能同好会への支援

方向性 4 青壮年層への働きかけ

（市町村、地区、芸能団体が主導）

方向性 5 次世代を担うリーダーの育成

- ・次世代の担い手との情報交換会、意見交換会の開催（再掲・継承フォーラム）
- ・飯田女子高等学校人形劇クラブ、阿南高等学校郷土芸能同好会への支援（再掲）

方向性 6 地区外人材の活用・受入の促進

- ・國學院大學での講演会、発表会（新野の雪祭り、遠山霜月祭和田、向方のお潔め祭り）の開催（H29～）
- ・南信州民俗芸能体感・講習会（銀座 NAGANO）（H27、28）
- ・民俗芸能サポート隊結成支援（坂部の冬まつり）（H27）

方向性 7 企業等による協力体制の構築

- ・南信州民俗芸能パートナー企業制度の運用

方向性 8 記録の保存

- ・映像記録及び報告書の作成（新野の雪祭り、清内路の手作り花火）

方向性 9 さらに検討すべき事項

- ・子ども向け Web パンフレットの作成

伝統芸能保存継承プロジェクト（民俗芸能資産化事業）報告

1. 伝統芸能保存継承プロジェクト（民俗芸能資産化事業）とその特徴

本事業は、本協議会が進めている「伝統行事（芸能）継承モデル事業（南信州民俗芸能継承推進事業）」と並んで、南信州広域連合を中心に取り組んでいる事業である。本事業推進の「方向性8」にある「記録の保存」に相当し、民俗芸能を調査し記録保存を目指している。

本事業の特徴は、まず地元保存団体等との協働事業として進めること、対象芸能のみでなく周辺の民俗や歴史等も視野に入れたこと、活字による記録と映像による記録の両方を行うこと、成果は地元の市町村・関係団体、郡内の主な博物館・図書館、県内および全国の主な図書館・大学、文化庁・文化財研究所や研究者などに送付し、さらに一般の希望者にも頒布することで共有財産とすること、成果を活用した講座・講演会・報告会を開催すること、などである。

2. 事業の成果

平成27年度に開催され、令和元年度までに以下の2つの事業を行った。

○第1弾 「南信州阿南町新野雪祭等資産化事業」 平成27・28年度

調査記録対象：新野の雪祭り（国指定重要無形民俗文化財）・年中行事

事業組織： 南信州阿南町新野雪祭等資産化実行委員会

南信州広域連合・阿南町・阿南町教育委員会

新野の雪祭り保存会・新野地区

飯田市美術博物館

事業費用： 南信州広域連合と阿南町の支出金をもとに、長野県元気づくり支援金を活用。

事業成果： 報告書『南信州民俗芸能調査報告書1 新野の雪祭り』 A4判 451頁

DVD・Blu-ray「南信州民俗芸能記録映像1 新野の雪祭り」（285分）

「同2 阿南町新野の年中行事」（160分）

成果活用事業： 報告会・講座・講演会等 3回（阿南町・美博・國學院大學）

○第2弾 「南信州阿智村清内路煙火等資産化事業」 平成29・30、令和元年度

調査記録対象：清内路の手造り花火（長野県無形民俗文化財）

南信州の煙火（飯田市・阿南町・高森町・飯島町・駒ヶ根市。

深見の祇園祭（長野県無形民俗文化財）を含む）

事業組織：南信州阿智村清内路煙火等資産化実行委員会

南信州広域連合・阿智村・阿智村教育委員会

上清内路煙火同志会・下清内路煙火有志会・清内路区

飯田市美術博物館・柳田國男記念伊那民俗学研究所

事業費用： 南信州広域連合と阿智村の支出金をもとに、長野県元気づくり支援金を活用。

事業成果： 報告書『南信州民俗芸能調査報告書2 清内路の手づくり煙火』 A4判 279頁

DVD・Blu-ray「南信州民俗芸能記録映像3 上清内路の手づくり煙火」（70分）

「同4 上清内路の手づくり煙火」（80分）

「同5 南信州の煙火」（120分）

成果活用事業： 報告会・講座・講演会等 2回を予定（コロナ禍により延期中）

3, 本事業の反省と今後

第1弾・2弾ともに大きな成果を上げることができ、今後の継承に資する点が大きいと思われる。その反面、国・県の指定文化財に偏る点や、国・県指定を中心とすれば調査対象市町村が偏ること、調査の主体者や地元の協力体制の構築、財政負担のあり方などに課題が残る。

今後取り上げたいテーマは、盆踊り・かけ踊り、人形芝居や歌舞伎、獅子舞など多く、実施すればその成果は大きいと予想される。しかし、先の解決すべき課題も多い。

令和2年度は、本事業を休止し、問題解決について検討したい。

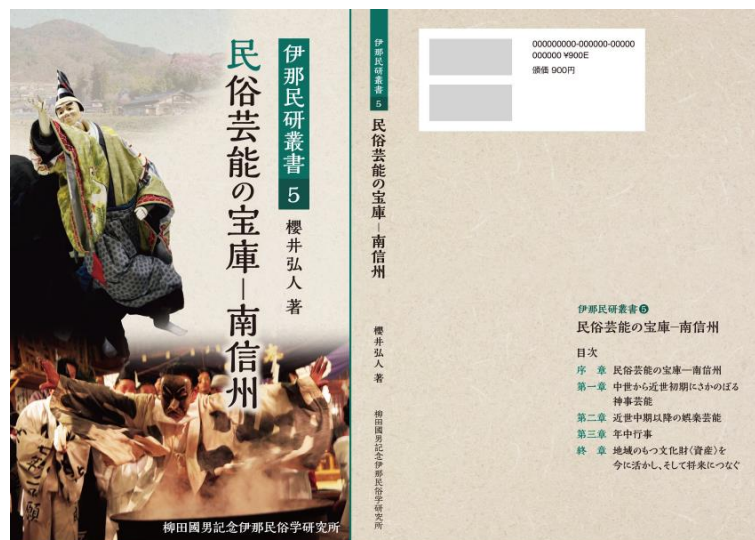
今後は、関係町村の主体的な参加を望みたい。

○連絡

柳田國男記念伊那民俗学研究所 叢書5『民俗芸能の宝庫—南信州』 近刊のお知らせ

表記の本が柳田國男記念伊那民俗学研究所から6月初旬に刊行されます。

書名	『民俗芸能の宝庫—南信州』
著者	櫻井弘人
仕様	A5判 125頁
内容	序章 民俗芸能の宝庫—南信州 第1章 中世から近世初期にさかのぼる神事芸能 第2章 近世中期以降の娯楽芸能 第3章 年中行事 終章 地域のもつ文化財〈資産〉を今に活かし、そして将来につなぐ



「南信州民俗芸能パートナー企業制度」登録状況

令和元年11月28日現在
南信州地域振興局

登録企業・団体数 82

	企業・団体名	業種等	住所	登録日
あ 行	旭松食品株式会社	凍豆腐等製造業	飯田市駄科	H29.3.2
	株式会社阿智屋神観光局	観光振興、地域振興事業	阿智村智里	H31.2.22
	湯元ホテル 阿智川	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	阿南部品株式会社	自動車用組電線製造業	阿南町新野	H30.11.19
	飯田エフエム放送株式会社	ラジオ放送局	飯田市常盤町	H30.3.13
	株式会社飯田ケーブルテレビ	ケーブルテレビ	飯田市松尾明	H29.3.2
	飯田商工会議所	経済団体	飯田市常盤町	H30.11.19
	飯田女子短期大学	短期大学	飯田市松尾	H31.2.22
	飯田信用金庫	信用金庫	飯田市本町	H28.5.16
	株式会社飯田水晶山温泉ランド	観光業(温泉施設)	飯田市箱川	H28.11.14
	飯田精密株式会社	精密機械加工	高森町下市田	R1.11.28
	石苔亭 いしだ	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	伊藤製菓有限会社	菓子製造業	喬木村	H30.11.19
	湯多利の里 伊那華	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	NSKマイクロプレジジョン株式会社	金属部品製造業	松川町元大島	R1.11.28
	大平建設株式会社	建設業	喬木村	H29.10.3
	株式会社お菓子のシアワセドー	菓子製造業	飯田市座光寺	H29.10.3
	保養センター 尾張あさひ苑	旅館	阿智村智里	H31.2.22
か 行	勝間田建設株式会社	建設業	飯田市松尾町	H28.11.14
	金本建設株式会社	建設業	泰阜村	H29.10.3
	喜久水酒造株式会社	酒造業	飯田市鼎切石	H29.3.2
	北沢建設株式会社	建設業	飯田市吾妻町	H29.10.3
	懐石と炉ばたの宿 吉弥	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	木下建設株式会社	建設業	飯田市松尾町	H30.3.13
	株式会社キラヤ	食料品小売業	飯田市松尾上溝	H30.11.19
	株式会社キンポーメルテック	精密板金加工業	飯田市三日市場	H29.3.2
	神稲建設株式会社	建設業	飯田市主税町	H29.10.3
	昼神の棲 玄竹	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	日長庵 桂月	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	ユルイの宿 恵山	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	小池建設株式会社	建設業	飯田市下久堅	R1.11.28
	興亜エレクトロニクス株式会社	電気機械器具製造業	阿南町西条	H28.5.16
	KOA株式会社 七久里の杜 下伊那ビジネスフィールド	電気機械器具製造業	阿智村春日	R1.11.28
	おとぎ亭 光風	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	株式会社コボックス	包装紙・包装袋等製造販売業	喬木村	H29.3.2
	小林製袋産業株式会社	果実袋製造販売業	飯田市北方	H29.3.2
さ 行	斉藤工業株式会社	建設業	飯田市松尾明	H30.3.13
	株式会社三六組	建設業	飯田市本町	H29.10.3
	山京インテック株式会社	電気機械器具製造業	飯田市時又	R1.11.28

	企業・団体名	業種等	住所	登録日
	お宿 山翠	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	信南交通株式会社	バス事業	飯田市大通	H30.3.13
	信菱電機株式会社	家電製品及びプラスチック製品の設計製造業	飯田市久米	H28.5.16
	癒楽の宿 清風苑	旅館	阿智村智里	H31.2.22
た	大協建設株式会社	建設業	大鹿村鹿塩	H29.10.3
行	多摩川精機株式会社	精密機械器具製造業	飯田市大休	H28.5.16
	株式会社たまゆら	介護事業	飯田市北方	H30.3.13
	中部電力株式会社 電力ネットワークカンパニー 飯田営業所	電気業	飯田市吾妻町	H30.11.19
	長豊建設株式会社	建設業	飯田市座光寺	H29.10.3
	阿智村保養センター 鶴巻荘	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	天恵製菓株式会社	菓子製造業	豊丘村神稲	H29.3.2
	屋神グランドホテル 天心	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	株式会社外松	食品卸売業	飯田市松尾上溝	H30.3.13
	株式会社トマツ本店	種苗・農業用資材の販売、卸	飯田市松尾	H31.2.22
	株式会社トライネット	建設業	飯田市松尾代田	H29.10.3
な	中田製絲株式会社	ホテル	飯田市錦町	R1.11.28
行	中日本高速道路株式会社 名古屋支社 飯田保全・サービスセンター	高速道路建設、管理	飯田市北方	R1.11.28
	株式会社長野銀行	銀行	飯田市桜町(松本市)	H28.5.16
	長野県商工会連合会 南信州支部	経済団体	飯田市追手町	H30.11.19
	夏目光学株式会社	レンズ製造業	飯田市鼎上茶屋	H29.3.2
	南信スバル株式会社	自動車販売業	飯田市上郷別府	H29.3.2
	新野建築有限会社	建築業	阿南町新野	H30.11.19
	西村工業株式会社	建設業	飯田市鼎上茶屋	H29.10.3
	日本郵便株式会社 南信南部地区連絡会内郵便局及び飯田郵便局	郵便局	飯田市鈴加町	R1.11.28
	野島建設株式会社	建設業	喬木村	H29.10.3
は	株式会社八十二銀行	銀行	飯田市知久町(長野市)	H28.5.16
行	飯伊森林組合	森林組合	飯田市常盤町	H29.10.3
	東日本電信電話株式会社 長野支店	電気通信業	飯田市中心通り	R1.11.28
	阿智の里 ひるがみ	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	リフレッシュ in ひるがみの森	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	北陸コ・コーホトリック(株) 飯田支店	清涼飲料製造及び販売業	飯田市三日市場	H30.8.9
ま	牧島建設有限会社	建設業	大鹿村大河原	H29.10.3
行	丸昌稲垣株式会社	食料品製造販売	飯田市上郷黒田	H30.11.19
	マルマン株式会社	食料品製造販売	飯田市大通	H30.11.19
	万葉茶寮 みさか	旅館	阿智村智里	H31.2.22
	株式会社南信州観光公社	観光振興、地域振興事業	飯田市育良町	R1.11.28
	株式会社南信州新聞社	新聞社	飯田市育良町	H30.3.13
	みなみ信州農業協同組合	農業協同組合	飯田市北方	H28.5.16
	宮下製氷冷蔵株式会社	製氷業	飯田市通り町	R1.11.28
	名糖乳業株式会社	食料品卸売業	飯田市上川路	H30.11.19
や	吉川建設株式会社	建設業	飯田市松尾町	H29.10.3
行	吉川工業株式会社	建設業	飯田市川路	H29.10.3
	株式会社吉野組	建設業	大鹿村大河原	H29.10.3

令和元年度 南信州民俗芸能パートナー企業の支援活動について

1 参加促進

従業員に対して地元の祭りや民俗芸能行事へ参加を推奨

2 人的支援

従業員が祭りや行事の裏方スタッフとして活躍

3 情報発信

新聞や情報誌等で民俗芸能を紹介（南信州新聞、いいだ FM(株)、飯田信用金庫）

4 資金支援

(1) 祭りの祝儀（花代）

(2) 自動販売機（清涼飲料水）の売上の一部を、協議会へ寄付（北陸コカ・コーラボトリング(株)飯田支店、名糖乳業(株)）

(3) 祭り当日に味噌汁を販売し、売り上げを保存会へ寄付（旭松食品(株)ほか）

(4) 保存会に対するイベント出演の謝礼（興亜エレクトロニクス(株)）

(5) 協議会のカレンダー制作に対する寄付（多摩川精機(株)含む 14 社）



南信州民俗芸能カレンダー

○内容

カレンダーと WEB ページの制作

○対象（配布先）

南信州管内の小中学校と児童生徒（小学校 43 校/約 8,600 名、中学校 22 校/約 4,500 名）を中心に、保存会、企業、役場、公民館等

○目的

児童生徒の各家庭、学校、役場等の公的機関、企業の事業所や店舗等に一年を通して掲載していただき、理解促進と継承気運の向上につなげることを目的に実施した。

○協賛企業

制作に際し、パートナー企業から協賛（寄付）を受けた。

阿南部品(株)
飯田女子短期大学
飯田信用金庫
勝間田建設(株)
(株)阿智☆昼神観光局
(株)長野銀行
喜久水酒造(株)
興亜エレクトロニクス(株)
小林製袋産業(株)
信菱電機株式会社
多摩川精機(株)
長野県商工会連合会南信州支部
飯伊森林組合
みなみ信州農業協同組合

南信州民俗芸能カレンダー事業に対するアンケート結果

南信州管内の小中学校の先生から回答（全 65 校中 36 校）

1 児童生徒の反応

(1) 関心度



(2) 具体的な様子

- ・地元の祭りの写真が掲載されていることに興味を示した。（天龍中学校、富草小学校ほか）
- ・これまで各地の伝統芸能に触れた児童を輪の中心に話題を広げていた。（高森北小学校ほか）
- ・自分たちにとって身近な祭りの写真をさがす。知っている祭りをさがす。面白そうな祭りをさがすといった順の見方をしていた。（追手町小学校）
- ・興味を示した子もいたが、自分たちの活動が載っているかに関心があった。（売木小中学校ほか）

2 郷土への関心を高める効果

(1) 効果の有無



(2) 理由

- ・下伊那には貴重な祭りが沢山あり、こうして紹介することは価値がある。住んでいる地域だけでなく、南信州全体を一つの地域文化として捉えられるし、他地域の状況や同世代の仲間の活躍を知ったりするのにも有効（竜峡中学校、下條中学校、新野小学校、上郷小学校、和田小学校ほか多数）
- ・本校ではふるさと学習を大切にしており、地域の神社の浦安の舞などの祭りに子どもたちが参加しているため、他地域にも同じように伝統芸能があることを知ることができる。（阿智第三小学校）
- ・配布されたカレンダーを保護者が見たとき、話題にしたり子どもを連れて足を運んだりするきっかけになる。（阿智中学校）
- ・全員に配っても、見ない家があると思われる。（松尾小学校ほか）

3 学校の授業での活用

(1) 活用の可否



(2) 理由

- ・これを扱おうとする教師の意思や意図による。（飯田東中学校ほか）
- ・社会科の学習や総合学習の時間の資料として活用できる。（豊丘南小学校、喬木第一小学校ほか）
- ・動画や写真が多数使われている点が良い。関わる人の表情とか祭り（地域）に寄せる思いや願いにも触れさせたい。（追手町小学校）
- ・ICT が充実すれば web 学習で活用できそう。（松川中学校、平谷小学校ほか）

4 カレンダーに対する意見・要望

- ・4月から3月の年度単位のカレンダーがありがたい。（高陵中学校、座光寺小学校ほか多数）
- ・懇談会などで保護者に渡せるとよいかもしれない。（松川中学校）

5 その他、協議会への意見・要望等

- ・これからの地域を担っていく子どもたちのために、引き続き民俗芸能の魅力を発信していただくことを願う。（和合小学校）
- ・現在、本校では総合的な学習の時間等での独自の取り組みは行われていないが、こういった資料をきっかけにして、自分たちが住む地域に昔から伝えられ、大切にされてきたお祭りや民俗芸能を知ったり、調べたりする学習活動が可能となると思う。積極的に活用していきたいと思う。（伊賀良小学校）
- ・地域のお年寄りや子どもたちの参加は割とあるが、保護者世代の参加がなかなかできないという声を聞く。保護者世代が参加しやすくなると良いと感じる。（竜東中学校）



黒田人形浄瑠璃 春季禮祭奉納上演（国選択無形民俗文化財）

日 時 平成 31 年 4 月 13 日（土）（宵祭）、4 月 14 日（日）（本祭）
場 所 下黒田諏訪神社境内人形専用舞台（飯田市上郷黒田 2344 番地 2）
参加企業 飯田信用金庫、多摩川精機株式会社
支援内容 記録撮影への協力



大鹿歌舞伎 春・秋 定期公演（国重要無形民俗文化財）

日 時 令和元年 5 月 3 日（祝）、10 月 20 日 9：00～
場 所 大磧（たいせき）神社舞台（大鹿村大河原 3402-2）
参加企業 飯田信用金庫、信菱電機(株)、大協建設(株)、多摩川精機(株)、(株)長野銀行、中部電力(株)
電力ネットワークカンパニー飯田営業所、飯田女子短期大学
支援内容 駐車場整理、会場準備、会場片づけ等への協力



興亜エレクトロニクス株式会社 50 周年感謝祭

日 時 令和元年 10 月 26 日（土）11：00～
場 所 阿南町コミュニティの森 特設会場
参加団体 早稲田人形、新野の盆踊り、和合の念仏踊り、新野の雪まつり、遠山の霜月祭り（和田）
支援内容 イベントに保存会を招待して従業員、地域住民と交流。保存会に出演の謝礼あり。



遠山の霜月祭り（正八幡神社）（国重要無形民俗文化財）

日 時 令和元年 12 月 11 日 8:00～（事前準備：令和元年 12 月 1 日 8:00～）
 場 所 上町正八幡宮（飯田市上村上町 784）
 参加企業 飯田信用金庫、飯田精密(株)
 支援内容 薪運び、釜の水足し、神楽歌の唱和（事前準備：掃除、湯木割など）



新野の雪まつり 伊豆神社（国重要無形民俗文化財）

日 時 令和 2 年 1 月 14 日
 場 所 阿南町役場新野出張所（阿南町新野 1495-1）
 参加企業 旭松食品(株)、喜久水酒造(株)、(株)キラヤ、丸昌稲垣(株)、マルマン(株)
 支援内容 吉鍋の食材提供と調理（販売は保存会が行い、売り上げは保存会に寄付）



令和元年度元気づくり支援金を活用した他団体の民俗芸能に係る取組

団体名	事業名	事業内容 (① ソフト事業 ②ハード事業)
舞台芸術鑑賞事業企画委員会(飯田市)	ようこそ、歌舞伎の世界へ 歌舞伎の魅力発信事業	・南信州地域に芸能・伝承芸能ファンを増やし、次世代に繋げていく機運の醸成を目的に、松竹大歌舞伎巡業公演を誘致するとともに、地域の小中学生や高校生を招待し、歌舞伎に親しむ機会を作った。 ・保存会員や地域住民を対象とした歌舞伎講座を開催した。 ①大歌舞伎公演、講座開催事業
南信州複合芸能文化の会(阿智村)	南信州の人形劇・獅子舞・サブカルチャーの複合芸能文化「南信州天昇オロチ」による南信州地域の文化振興	・伝統芸能の獅子舞、人形劇、現代のサブカルチャーといった当地域の文化の要素をすべて取り入れた複合芸能「南信州天昇オロチ」の演舞を、飯田市で行われる人形劇フェスタ、飯田丘のまちフェスティバル、南信州獅子舞フェスティバル等に参加し実施するとともに、小型版の獅子舞を制作し、管内保育園・小学校へ出張上演を行った。 ①台本制作、デザイン費、舞台演、演舞指導 ②獅子頭制作、獅子舞制作
大鹿歌舞伎保存会(大鹿村)	大鹿歌舞伎体感伝承活用事業	・大鹿歌舞伎の魅力を広く発信し、保存伝承するための各種事業に取り組んだ。 (1) 中学生や小学生対象の公演(2)「大鹿歌舞伎の歴史」をテーマにした講演会、体験ワークショップ(3)高速バスラッピング(4)歌舞伎用具の新調 ①音響委託、講演会講師謝金、高速バスラッピング ②歌舞伎衣装、かつら、小道具
南信州阿智村清内路煙火等資産化事業実行委員会(飯田市)	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業	・阿智村清内路の手作り煙火を中心に南信州の花火文化を調査し、文字と映像で記録した。地元で聞き取り、文献調査、動画撮影、写真撮影を行い、学習会を開催。花火文化の保存継承に取り組んだ。 ①専門家謝礼、専門家旅費、映像制作委託費、報告会印刷製本費
下條村歌舞伎保存会	下條歌舞伎の軌跡・映像アーカイブス制作事業	・下條歌舞伎の担い手である子どもに焦点をあてた記録映像を制作した。ケーブルテレビで放送するとともにHP等へも掲載し、魅力発信ツールとして活用した。 ・下條歌舞伎の魅力を内外に発信するため、下條歌舞伎シンポジウムと歌舞伎にまつわる場所を巡るツアーを開催した。 ①講師謝礼、映像制作

南信州観光公社における令和元年度民俗芸能ツアー実施実績

ツアー名	年月日	種類	内 容	昼食場所	地域	発着場所	催行/ 不催行	参加 人数
南信州 桜守の旅と飯沼諏訪神社の獅子舞鑑賞ツアー	4月7日	一般	桜守の旅と春の風物詩である南信州の獅子舞(飯沼諏訪神社)を鑑賞するツアー。	KURANO	飯田市	名古屋	○	12
大鹿歌舞伎「春の公演」鑑賞と“日本一の花桃の里”月川温泉郷を訪ねる旅	5月3日～4日	一般	春の大鹿歌舞伎公演鑑賞と2日目は飯田市の観光名所と日本一の花桃の里を巡る。	歌舞伎弁当 ココロファーム	大鹿村 飯田市 阿智村	名古屋	○	25
国重要無形民俗文化財 新野の盆踊り見学ツアー	8月16日 ～ 17日	一般	道の駅新野千石平(昼食)⇒新野の盆踊り事前学習⇒瑞光院⇒夕食(遊星館)⇒ワークショップ⇒新野盆踊り見学参加⇒遊星館(宿泊)。梅花園(桃狩り)⇒COCOROFARM(昼食)	道の駅新野千石平 COCOROFARM	阿南町 飯田市	名古屋	○	11
奇祭・勇壮！ 七久里神社の裸祭り 見学ツアー	9月28日 ～ 29日	一般	七久里神社(事前見学)⇒昼食(あすき)⇒川本人形美術館⇒和菓子探訪の旅⇒夕食(シルク)⇒七久里神社の裸祭り見学⇒宿泊(シルクホテル)。関島(水引き)⇒旧小笠原家書院宇⇒COCOROFARM(昼食)⇒天龍峡(散策)⇒木下農園	あすき COCOROFARM	飯田市	名古屋	○	12
今田人形“ろうそく公演”と 第12回南信州獅子舞フェスティバル 鑑賞の旅	10月19日 ～ 20日	一般	馳走かん田(昼食)⇒飯田市美術館(伝統芸能、春草)⇒COCOROFARM(夕食)⇒今田人形ろうそく公演⇒シルクホテル(宿泊)。南信州獅子舞フェスティバル 見学⇒ひらのや(昼食)⇒川本人形美術館⇒木下農園(りんご狩り)	馳走かん田 ひらのや	飯田市	名古屋	○	16
国重要無形民俗文化財 遠山の霜月祭り①	12月11日 ～ 12日	一般	りんごの里⇒丸西屋(昼食)⇒まつり伝承館(事前学習)⇒霜月祭り見学(上町正八幡宮)⇒夕食(かぐらの湯)⇒祭り見学⇒仮眠所(上村コミュニティ)。湯～眠(朝食・入浴)⇒りんごの里	丸西屋	飯田市	名古屋	○	7
国重要無形民俗文化財 遠山の霜月祭り②	12月15日 ～ 16日	一般	丸西屋(昼食)⇒遠山郷土館(事前学習)⇒霜月祭り見学(尾野島正八幡神社)⇒夕食(島畑)⇒祭り見学⇒島畑(宿泊)。藤姫饅頭⇒天龍峡大橋⇒キッチン大さじ(昼食)	丸西屋 キッチン大さじ	飯田市	名古屋	○	13
新野の雪祭り	1月14日 ～ 15日	一般	りんごの里⇒しみず(昼食)⇒事前学習⇒お上り見学⇒道の駅新野千石平(夕食)⇒新野の盆踊り自由見学⇒仮眠所(砂田公民館)。道の駅千石平(朝食)⇒コスモスの湯(入浴)⇒Cafe Fukuum(昼食)⇒りんごの里	そば処しみず Cafe Fukuum	阿南町 下條村 飯田市	りんごの里	○	8
合 計								104

国重要無形民俗文化財

新野の盆踊り

見学ツアー

長野県◆阿南町

代金 1名様 33,000円 税込 定員30名 (最小催行人数20名)

民俗学者 柳田國男が
祖先祭祀の古い姿を
残すものとして高く評価した
山里の盆踊り

名古屋発着
1泊2日
バスツアー
参加者募集中!

2019

8/16金 17土

行程・ツアー内容

16金 8:30 名古屋駅(太閤口)集合 ⇒ 8:40 出発(大型バス利用・国道153号経由) ⇒ 11:40 阿南町新野地区着

11:40 道の駅 新野千石平「蔵」にて昼食

くるみを贅沢に使用した評判の御幣餅や川魚、馬刺しなど地元ならではの味が楽しめる「御幣定食」をご賞味いただきます。



12:50 新野の盆踊りを学ぶ

【阿南町農村文化伝承センター】

新野の盆踊りを楽しむ前に、新野の盆踊りの由来や特徴、踊り方について興味深い話を聞きます。新野の盆踊りには、「輪踊り」と「行列踊り」の両方の形を備えているのが古い盆踊りの形とされています。



14:25 瑞光院 拝観

瑞光院は新野の盆踊りの発祥に関わる名刹。戦国時代、伊勢の出身でこの地に大勢力を誇った関氏の菩提寺です。関氏滅亡の物語を題材にした井上靖の小説「犬坊狂乱」は有名です。



17:30 うるぎ温泉郷 湯元 遊星館にて夕食

本日のお宿「湯元遊星館」にチェックイン。休憩後、夕食は囲炉裏を囲んでの炉端焼き料理です。山の幸をふんだんに、川に海に求めた美味の数々を炭火でじっくりとご賞味ください。

※宿泊条件については裏面「宿泊条件」についてご確認ください



19:00 新野の盆踊りワークショップに参加

20:15 【新野ふれあい館】

いよいよ盆踊りが始まります! 盆踊りの前に地元の方から踊り方について丁寧な指導を受けます。

盆踊りの必須アイテムでもある新野の盆踊り歌詞入りのオリジナル扇子をプレゼントします!



21:00 22:30

新野の盆踊り参加【見学】

新野の新盆家庭で祀られていた切子燈籠はやぐらへ集められ灯りが入ります。櫓に上がった「音頭取り」と踊り子が一体になって声を出し、夜を徹して朝まで踊り続けます。他の地方の盆踊りと違って楽器を一切使わない素朴な盆踊りです。誰でも参加できますので、是非一緒に踊りを楽しみましょう!



23:00 うるぎ温泉郷 湯元 遊星館に宿泊

翌朝見学する新野の盆踊りのクライマックス「踊り神送り」に備えて就寝です。



17土 4:15 湯元 遊星館 出発(マイクロバスにて)

4:30 盆踊りのクライマックス「踊り神送り」見学

4:45 早朝、切子燈籠は櫓から下ろされ「踊り神送り」の行列となって練り歩きます。この時、男女問わず何人もの若者が、行列の進行を阻止しようとする。最後、行列は瑞光院の下まで行き、行者が刀を抜いて呪文を唱え九字を切ります。切子灯籠に火が点けられ、一同振りむかず、秋歌を歌いながら帰ります。振り向くことは禁じられています。



7:30 湯元 遊星館にて朝食と休憩 ※湯元 遊星館 出発 9:30

10:30 桃の収穫・桃まるごと食体験

【梅花園/飯田市】

夏の味覚、南信州特産の桃を思う存分満喫してください!

POINT ●桃の収穫体験(2個) ●冷やした完熟桃1個ご堪能 ●桃シャーベット・桃スムージー・もう1個の冷やした桃から選択



11:45 COCORO FARM VILLAGEにて昼食

南信州産の食材を知り尽くしたイタリアンシェフによる、素材を生かした極上の創作料理を、庭園が一望できる癒しの空間でゆったりとご堪能ください!



13:00 天龍峡IC ⇒ 15:00 名古屋駅(太閤口)着

国重要無形民俗文化財 新野の盆りとは

戦国時代の享禄2年(1529)、阿南町新野の名刹・瑞光院が創建された際、三河国振草下田(愛知県東栄町)の人々が来て祝い踊ったのが始まりとされます。8月14~16日の午後9時から翌朝6時頃まで、やぐらを囲んで住民たちが夜通し踊ります。他の地方の盆踊りと違って楽器を一切使わないこと、最後の夜明けに新盆の切子灯籠を送る「踊り神送り」が行われることが特徴。大正15年に民俗学者の柳田國男が来村して「この踊りは盆踊りとして完全な特徴を持っている珍しいものなので、この形を崩すことなく後世に伝えるように」と言い残しました。

※ご留意いただきたい点

- 新野の盆踊りの必須アイテムである扇子(盆踊り歌の歌詞入り)は、ツアー主催者側から当日プレゼントします。
- 盆踊りの服装は自由で、どんなでもどんな服装でも踊りに参加できます。但し、浴衣があるとなお一層雰囲気があるので、浴衣をご持参いただくのもお勧めです。

条件及び日程をご確認いただき、令和元年8月2日(金)までにFAX・ホームページにてお申し込みください。

締切日以前であっても、募集人員に達した時点で締め切らせていただきます。

旅行条件・お申込書は裏面にあります。ご利用ください。

協力:新野高原盆踊りの会/瑞光院/阿南町/阿南町教育委員会/飯田市

旅行企画・実施 日本版DMO (株)南信州観光公社

(地域連携DMO)

長野県知事旅行業登録 第2-431号 総合旅行業務取扱管理者 高橋 充

〒395-0152 長野県飯田市育良町1丁目2番地1 りんごの里内 営業時間8:30~17:30

TEL.0265-28-1747 FAX.0265-28-1748

南信州観光公社ホームページ <https://www.mstb.jp/>



名古屋発着
バスツアー
1泊2日
参加者募集中!

国重要無形民俗文化財 遠山の霜月祭り ——村人が神々になる冬の奇祭——

※写真はイメージです

国重要無形民俗文化財 遠山の霜月祭りとは

遠山の霜月祭りは、遠山郷(飯田市)に古くから伝わる湯立て神楽の祭りで、祭りのクライマックスには様々な面が登場し、煮えたぎる湯を素手ではねかけます。ふりかけられた禊ぎの湯によって一年の悪を払い、新たな生命を復活させる祭りです。今回は、違った特徴を持つ2タイプの霜月祭りを見学していただくツアーを企画しましたので、どちらかをお選びください。

ツアー① 12/11・12 行程・ツアー内容 ※夜通し実施(仮眠所泊)

11日(水) 8:30 名古屋駅(太閤口)集合 8:40 出発(中型バス利用) ⇒ 10:40 飯田山本IC経由

12:00 蕎麦処 丸西屋にて昼食

自慢の新蕎麦と遠山郷の郷土料理をご堪能ください。



13:15 秋葉街道 上町宿散策

13:45 遠山の霜月祭りを学ぶ【まつり伝承館 天伯】

上町正八幡宮の霜月祭りについて地元の詳しい方からお話をお聞かせします。



14:30 霜月祭りの見学【上町正八幡宮】

全国の神々を迎える「神帳」奉読から始まる最初の神事を見学します。

18:00 かぐらの湯にて夕食

夜通し行われる霜月祭りの見学に備えて、地のものを活かした、身体の温まる食事をご賞味いただきます。

※入浴はご自身での自由入浴となります。
(別料金。入浴料630円)

21:00 霜月祭りの見学【上町正八幡宮】

祭りは夜を徹して翌朝7時頃まで行われ、祭りが最高潮に達する「面」の登場は、早朝5時以降の予定です。

※隣接する仮眠所(上村コミュニティーセンター)での仮宿泊になります。仮眠所は暖房が効いた暖かい場所となっており、寝袋、毛布などを弊社でご用意します。



12日(木) 7:00 上町正八幡宮 出発

8:00 バイキング朝食とご入浴

飯田インター近くの天然温泉「湯〜眠」にて祭り見学の疲れを癒やします。

10:35 飯田IC ⇒ 12:35 名古屋駅(太閤口) 着

ツアー① 12/11(水)・12/12(木) 上町正八幡宮(夜通し実施)
代金 1名様 27,500円

ツアー② 12/15(日)・16(月) 尾野島正八幡神社(夜中12時までに終了)
代金 1名様 36,000円

各ツアー定員25名(最小催行人数18名)

ツアー② 12/15・16 行程・ツアー内容 ※夜中12時までに終了(いろいろの宿 島畑 宿泊)

15日(日) 8:00 名古屋駅(太閤口)集合 8:10 出発(中型バス利用) ⇒ 10:10 飯田山本IC経由

11:30 蕎麦処 丸西屋にて昼食

自慢の新蕎麦と遠山郷の郷土料理をご堪能ください。



12:40 遠山の霜月祭りを学ぶ【遠山郷土館】

尾野島正八幡神社の霜月祭りについて地元の詳しい方からお話をお聞かせします。

13:40 霜月祭りの見学【尾野島正八幡神社】

湯開き、下堂祓い(剣の舞)などから始まる最初の神事を見学します。

17:30 いろいろの宿 島畑にて夕食

昔懐かしい囲炉裏を囲んで、ジビエ料理や山の恵みにこだわった郷土料理をご堪能ください。
※宿泊条件については裏面「宿泊条件について」をご確認ください。



20:00 霜月祭りの見学【尾野島正八幡神社】

「水の王」が登場し、煮えたぎる湯釜に素手を入れて湯をはねかけると、湯気で真っ白になった社殿は熱気と歓声に包まれます。その後、個性的な「面」が次々に登場します…。



24:15 いろいろの宿 島畑に宿泊 16日(月) 9:00 いろいろの宿 島畑 出発

9:10 大人気! 藤姫饅頭をお土産に

午前中には売り切れ! 「もちもち食感」で大人気の藤姫饅頭を是非お買い求め下さい!

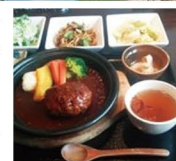


10:40 「天龍峡大橋」を見学

11月に開通する「天龍峡大橋」。橋の下に取り付けられた歩道から眺める名勝 天龍峡は、絶景の一言!

12:20 キッチン 大さじにて手作り料理のランチ

メイン料理のほか地元食材を活かした手作り料理が人気! デザートも含めて食べ放題。



13:40 飯田IC ⇒ 15:40 名古屋駅(太閤口) 着

※写真はイメージです

条件及び日程をご確認いただき、令和元年11月27日(水)までにFAX・ホームページにてお申し込みください。
締切日以前であっても、募集人員に達した時点で締め切らせていただきます。

旅行条件・お申込書は裏面にあります。ご利用ください。

協力: 遠山郷観光協会・飯田市

旅行企画・実施 日本版DMO (地域連携DMO) (株)南信州観光公社

長野県知事旅行業登録 第2-431号 総合旅行業務取扱管理者 高橋 充

〒395-0152 長野県飯田市育良町1丁目2番地1 りんごの里内 営業時間8:30~17:30

TEL.0265-28-1747 FAX.0265-28-1748

南信州観光公社ホームページ <https://www.mstb.jp/>

りんごの里
(飯田市)発着
1泊2日
バスツアー

参加者募集中!

民俗学者・折口信夫が高く評価し全国で紹介した
《国重要無形民俗文化財》

新野の雪祭り

長野県阿南町新野

幸法

国重要無形民俗文化財 新野の雪祭りとは【長野県阿南町新野地区】

伊豆神社(阿南町新野)で行われる「新野の雪祭り」は、雪を豊年の吉兆とみて田畑の実りを願う祭りで、本祭りは1月14日の夜から翌朝にかけて夜を徹して行われます。田楽、舞楽、神楽、猿楽、田遊びなどの日本の芸能絵巻が徹夜で繰り広げられます。大正15年、初めて新野を訪れた民俗学者の折口信夫は、この祭りを「雪祭り」と名付け、「日本の芸能を学ぶものは、一度見る必要のある祭り」として全国で紹介したことも知られています。

2020 1/14 火 15 水

14日(火) 行程・ツアー内容

●中央道高速バス利用の方 ※りんごの里は「伊賀良バス停」に隣接
【名古屋方面から】10:00 名鉄バスセンター発《中央道経由》⇒ 11:43 伊賀良着
【東京方面から】8:05 バスタ新宿発《中央道経由》⇒ 12:06 伊賀良着
12:30 りんごの里発(マイクロバスにて)

12:40



そば処 鴨料理「しみず」にて昼食

国内最高級のそば粉を使用した自慢の手打ち蕎麦と国産の合鴨を使用した「鴨汁そば」(天むす付)をご賞味いただきます。また当店は、日本名水百選「猿倉の泉」(飯田市)の水を全てに使用する「こだわりの店」でもあります。なお、ご希望により「ざるそば」に変更することも可能です。

14:40 新野の雪祭りを学ぶ【阿南町農村文化伝承センター】

新野の雪祭りを見学する前に、雪祭りの由来や内容、また夜を徹して行われる雪祭りの見どころ、楽しみ方などについて祭りに詳しい地元の方から話を聞かします。

17:00 新野の雪祭り“お上り”見学【阿南町農村文化伝承センター前】

伊豆神社の神様が前日2キロほど離れた諏訪神社に「お下り」になり、祭り当日の夕方に諏訪神社から伊豆神社へお戻りになる行列「お上り」が到着すると、雪祭りの本番を迎えます。



17:30



道の駅 新野 千石平「蔵」にて夕食

くろみを贅沢に使用した評判の大御幣餅や川魚、馬刺しなど地元ならではの味が楽しめる「御幣定食」をご賞味いただきます。

※写真はイメージです。

代金 ※1名様 税込 **21,500円** 定員25名
【最少催行人数 12名】

※ツアー発着場所である「りんごの里」(飯田市)までの交通費は、ツアー代金には含まれておりません。「りんごの里」までの交通手段に関わるチケット、切符などにつきましては、各自お求めください。なお、「りんごの里」発着時間に合わせた中央道高速バス(名古屋または新宿からのアクセス)の時間を目安として記載してありますのでご参照ください。「りんごの里」は中央道高速バス伊賀良バス停に隣接しております。アクセスやチケット購入方法などご不明な点は、(株)南信州観光公社までお問い合わせください。

19:00 新野の雪祭りを自由見学

翌朝
8:15
頃まで

祭りは、神楽殿での舞、巨大な松明起こしと「御舟」による点火に続き、歳神としての幸法(さいほう)やその模倣である茂登喜(もどき)、古風なビンザサラ舞、競馬(きょうまん)、天狗(てんごう)などの演目が夜を徹して繰り広げられます。

※宿泊について(仮眠所)

伊豆神社(新野の雪祭り)から徒歩9分(約500m)にある仮眠所(砂田公民館)での仮宿泊になります。仮眠所は暖房が効いた暖かい場所となっており、寝袋、毛布などを弊社で用意いたします。



15日(水) 行程・ツアー内容

8:15頃まで 新野の雪祭りを自由見学

8:45 朝食(道の駅 千石平「蔵」にて朝食)

9:30 道の駅千石平 出発(マイクロバスにて)

10:10 下條温泉郷「コスモスの湯」にて入浴

12:00 Cafe Fukuumeにてランチ

天竜川沿いに佇む明治創業の割烹旅館「福梅」の一角を改装した隠れ家的空間のカフェ。地元産の食材をふんだんに盛り込んだビュッフェスタイルのランチをお楽しみください。



13:30 りんごの里着(解散)

●中央道高速バス利用の方

【名古屋方面へ】13:49 伊賀良発《中央道経由》⇒ 15:35 名鉄バスセンター着
【東京方面へ】14:16 伊賀良発《中央道経由》⇒ 18:15 バスタ新宿着

条件及び日程をご確認いただき、令和元年12月24日(火)までにFAX・ホームページにてお申し込みください。

締切日以前であっても、募集人員に達した時点で締め切らせていただきます。

旅行条件・お申込書は裏面にあります。ご利用ください。

協力:阿南町/阿南町教育委員会/飯田市

日本版DMO(地域連携DMO)

旅行企画・実施 (株)南信州観光公社

長野県知事旅行業登録 第2-431号 総合旅行業務取扱管理者 高橋 充

〒395-0152 長野県飯田市育良町1丁目2番地1 りんごの里内 営業時間8:30~17:30

TEL.0265-28-1747 FAX.0265-28-1748

南信州観光公社ホームページ <https://www.mstb.jp/>

南信州民俗芸能継承推進協議会規約

(名称)

第1条 本協議会は、南信州民俗芸能継承推進協議会（以下「本協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本協議会は、将来に向けて南信州が誇る民俗芸能の維持・継承を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本協議会は、前条の目的達成のため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 民俗芸能の維持・継承に関する事業
- (2) 民俗芸能の後継者育成に関する事業
- (3) 前各号に掲げるもののほか、本協議会の目的達成に必要な事業

(構成)

第4条 本協議会は、次に掲げる組織をもって組織する。

- (1) 伊那谷民俗芸能団体連絡協議会
- (2) 民俗芸能関連住民団体
- (3) 南信州広域連合（総務・文教・消防部会）
- (4) 飯伊市町村教育委員会連絡協議会
- (5) 飯田市美術博物館
- (6) 長野県教育委員会
- (7) 長野県南信州地域振興局
- (8) 前各号に掲げるもののほか、本協議会の目的の趣旨に賛同する者

(役員)

第5条 本協議会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
 - (2) 副会長 1 名
 - (3) 監 事 1 名
- 2 会長は、会員の互選により選出する。
- 3 副会長及び監事は、会長が任命する。

(任期)

第6条 役員の任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の職務)

第7条 会長は、本協議会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき又は会長に事故あるときは、その職務を代理する。

3 監事は、会計を監査する。

(アドバイザー)

第8条 本協議会にアドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、総会において会長が推挙する。

3 アドバイザーは、学術的観点から本協議会へアドバイスをを行う。

(委員会)

第9条 第3条各号に掲げる事業について、取組みの方向性を検討し具体的な事業の推進を担う組織として、民俗芸能継承推進委員会(以下、「委員会」という。)を置く。

2 委員会の委員は、会長が任命する。

3 委員会に次の者を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 委員長代理 1名

4 委員長は、委員の互選により選出する。

5 委員長代理は、委員長が指名する。

(地区推進組織)

第10条 第3条各号に掲げる事業について、各民俗芸能継承の具体的な取組みを実践する組織として、必要に応じ地区推進組織を置くことができる。

(会議)

第11条 本協議会の会議は、総会、委員会及び地区推進組織とする。

2 総会は、本協議会の最高意思決定機関として、会長が招集し、議長を務める。

3 委員会は、会長の命を受け、会務の企画立案に当たる。

4 地区推進組織は、前条に規定するところにより、地域の実情に応じた取組を

検討、実践する。

(事務局)

第12条 本協議会の事務局は、南信州広域連合に置く。ただし、第10条に定める地区推進組織の事務局は原則として当該市町村に置く。

(経費)

第13条 本協議会の経費は、当面の間、長野県からの補助金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 本協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(補則)

第15条 この規約に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成27年7月1日から施行する。

(設立年度の特例)

2 本協議会の設立年度における会計は、第14条の規定にかかわらず、平成27年7月1日に始まり平成28年3月31日に終わる。



～南信州の宝「民俗芸能」を未来に伝承するために～